

持続可能な地域経済の発展に係る連携・協力に関する協定の締結について

3月25日、香川大学は、高松国際ホテルにおいて、トモニホールディングス・徳島大正銀行・香川銀行・徳島大学・阿南工業高等専門学校・香川高等専門学校と持続可能な地域経済の発展に係る連携・協力に関する協定を締結しました。

(1) 本協定の内容

- ①各大学・高専は、トモニホールディングス・徳島大正銀行・香川銀行が持続可能な地域経済の発展に貢献するために必要となる機能を適切に発揮していくため、アドバイス等を行う。
- ②トモニホールディングス・徳島大正銀行・香川銀行は、各大学・高専が保有する特許等の知的財産及び技術・研究成果を用いて起業する若しくは事業化する企業活動又はベンチャーに対して、地域とトモニファンドの活用を含め、経営面・金融面でのサポートを行う。

③各協定機関は、地域経済を支える金融機能を維持するために、相互に協力して人材育成に努める。

(2) 本協定の特徴

- ①徳島・香川の両県をカバーする広域連携
- ②大学・高専・地域銀行が参加する多角的連携
- ③地域とトモニファンドの活用を含め、具体的な活動や成果を重視



協定を締結し、挨拶する寛学長



左から、中村トモニホールディングス社長、本田香川銀行頭取、吉岡徳島大正銀行頭取、野地徳島大学長、寛香川大学長、寺沢阿南工業高等専門学校長、安藤香川高等専門学校長

香川大学には、幸町キャンパス、医学部キャンパス、農学部キャンパス、創造工学部キャンパスに所属するサークルがあります。
香川大学サークルガイドでは、各団体の活動内容・年間スケジュール等を紹介しています。



香川大学では、経済的に窮迫している本学学生に対し、学生生活の安定と学業への専念を図ることを目的とした制度を設けています。

短期貸付金制度



教育ローン

百十四銀行「香川大学提携教育ローン」
「国の教育ローン」(日本政策金融公庫)



香川大学大学院
地域マネジメント
研究科長
原 真志
hara shinji

現場感覚、認識変化、逆境経験を糧に、自分の生き方を見つけよう！

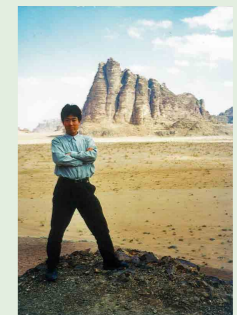
大学には理系で入学しましたが、自分の本当の関心は人や社会にあることに気がつき、2年後半からの専門で文系に変わりました。理系から文系に変わること悩んでいた時、1年の全学のゼミでお世話になった科学史科学哲学が専門の村上陽一郎先生から複数の選択肢があり得るとアドバイスを頂戴し、自分で考えて決めるように導いていただきました。本当にありがたかったです。専門変更のため1年留年することになりましたが(笑)。

留年中、初めての海外旅行としてバックパッカースタイルで中国を約3週間旅行しました。プラザ合意によって円が強くなり、学生も少しバイトをすると海外旅行ができる時代になりましたが、インターネットはまだなく、訪問した先々で安く良い宿を探しました。意図せず騒

乱のチベットに入ってしまう、歴史の現場という情報の最前線を直接経験したことは大きな財産になりました。

卒業旅行ではヨルダン、イスラエルなど中東を約1ヶ月半旅しました。イスラエルではエルサレムなどの観光地だけでなく、ガザの難民キャンプも訪問しました。難民キャンプの子どもたちにオレンジをもらった日本人は少ないのでは(笑)。平和に経済活動をしたいと望むパレスチナ人がいることを外に伝えてくれと言うフランス化粧品会社社長を紹介されました。日本で接する中東情報は偏っていると感じ、現場をおさえるフィールドワークの大切さを悟りました。徹底した現場主義は今の教育研究にも活かされています。ヨルダンでは映画『アラビアのロレンス』の撮影がされたワディラムに行きましたが、これは今で言うロケ地巡りで地域活性化の手法につながります(笑)。

地域マネジメント研究科では、地域活性化に貢献するマネジメントのリーダー育成と関連研究を行っています。原点は大学時代の経験にあります。大学生の時のベルリンの壁の崩壊は歴史的な変化でした。東日本大震災の後、日本人の若者の意識が変わりました。今、新型コロナウイルスが世界の経済社会に大変な影響を与えており、大きな意識の変化が世界規模で起こるでしょう。そんな中で自分は何をすべきか、大学生活を通じて掴んでいっていただけたらと思います。



映画「アラビアのロレンス」や「スターウォーズ/エピソード9」のロケ地になったヨルダンのワディラムで。

世界が訪れたい観光立国ニッポンを目指して、私の提案



屋島山上ちょうちんカフェは、屋島と讃岐ちょうちんの魅力発信を目的として2016年から活動を始めました。「屋島の夕夜景が活かしきれていない」、「香川の伝統工芸である讃岐ちょうちんが広く認知されていない」という現状を踏まえ、双方の魅力発信の手段として、カフェという場所づくりを行っています。

4度目となる2019年の開催にあたって、ちょうちんカフェをこれまでよりも良いものにするため、何が求められていて、自分たちはどう応えたいのか、40人を超えるメンバーが、

学年の垣根を超えて検討を重ねました。例えば、前年度のアンケートに寄せられた「もっとボリュームのあるメニューが欲しい」という意見に対して、スタッフの負担とお客様のニーズのバランスが問題となりました。メンバーが試行錯誤を繰り返し、2年目の大好評メニューであったキーマカレーをテイクアウト形式にして、スタッフの負担軽減とともに、お客様のニーズに応えました。また、ちょうちんカフェを運営する上で、全員が納得のいく意思決定のプロセスや結論の出し方など、中々うまくいかなかったり、解決策を見出せ

ず悩んだことも多かったです。しかし、より多くの方に楽しんでもらえるよう、全員で協同して準備を進めたことで、過去最高となる2,374名の方々にお越しいただきました。加えて、「何度も来ているが、今までが一番良かった」といった声も寄せられ、みんなが一体となって屋島山上ちょうちんカフェを作り上げるやりがいや意義を深く感じました。

また、準備から運営に至るまで様々な面でお世話になっている「れいがん茶屋」さんの大規模な改修工事が決まり、屋島山上ちょうちんカフェは一旦活動の節目を迎えることになりました。そして、4年間の活動実績をより一層多くの人に知ってもらうため、日本ホテル教育センター主催の学生観光論文コンテストに応募することを決めました。論文のテーマである「世界が訪れたい観光立国ニッポンを目指して、私の提案」について、どうすれば効果的な提案ができるか検討を重ねま



和室に設けたちょうちんの間、最も夜景と灯りの魅力を感じてもらえる場所の一つです。



ベーグルサンド二種【たまご、お肉】(左上)、キーマカレー(右下)。開店後、即完売するほど好評いただきました。

した。ちょうちんカフェでは、「屋島」と「讃岐ちょうちん」という異なる分野の魅力を融合させ、魅力発信をしてきたこと、屋島が瀬戸内海国立公園に位置していることを踏まえ、利用者が減少傾向にある国立公園の利活用について執筆することとなりました。4年間の来客者アンケートの分析やこれまでの経験に基づき異分野の資源を結び付けた国立公園の利活用について、屋島山上ちょうちんカフェがモデルケースとなれるよう心掛けました。データ分析や論点の整理など、論考が進まず苦労したこともありましたが、西成典久教授を始め、ゼミのメンバーと協力することで、コンテストにおいて最優秀賞を頂くことができました。

屋島山上ちょうちんカフェを通して、たくさんの方の経験をしてきましたが、どれも一人では成しえないものばかりでした。多くの人と関わり、時に意見を衝突させながら活動に取り組むことで、人間的に大きく成長できたと感じています。今後も屋島と讃岐ちょうちんの魅力をより多くの人に知ってもらえるよう、メンバー一同活動に邁進してまいります。

経済学部 4年 大森皓太



昨年からの開始、ドリンクカップへのメッセージ記入。少しでも楽しんでもらえるよう趣向を凝らします。



開店前の仕込みの様子。300人を超えるお客様を迎えるために、メニュー班の頑張りが必要不可欠です。



開店前にミーティングを行い、各自の役割、連絡事項を確認します。



最終日の開店前の様子。この日は396名の方にお越しいただきました。



TERASUによる讃岐提灯作りワークショップ。見るだけでなく、作ることを通じて魅力を感じてもらいます。



営業中はとても賑わい、お越しいただいた方の交流の場となります。



最終日の集合写真 みんなの笑顔が輝いています！(前列中央・大森、前列左端・西成教授)

from International Office



ちきゅう見聞録



チェコ

教育学部
本田 菫
2019年3月5日～26日
教育学部の交換留学制度で留学



「チェコの人たちに日本の文化や言葉が英語を用いて伝える」という内容のプログラムに参加。チェボニュー (Trebno) という町の高等専門学校で毎朝、日本語の授業を行い、ひらがなの読み書きや日常会話、単語などを紹介しました。



チェコの建物は個人的にとっても好きです。カラフルな家々が並ぶ街並みを見るとワクワクせずにはいられます。「おしゃれでかっこいい」という、私を持っていたヨーロッパのイメージは、景観のカラフルさ、形の可愛さにあるのかなあと思いました。



チェコで有名な菓子「トルデルニック」。空洞の形をした、外はカリッと、中はふんわりとした生地です。中にアイスクリームやホイップクリームを入れて食べます。とてもボリュームがありますが、その美味しさのせいで食べきれちゃうんです、、、(笑)

read more

